

【PRESS RELEASE】

広島の小中学生が能登へ 被災地訪問で“生きる力”と防災を学ぶ

2025年10月17日

広島県PTA連合会

広島県PTA連合会は、近年の異常気象や災害の頻発を受け、県内の小学5年生から中学3年生を対象とした「能登(輪島市)被災地訪問研修」を新たに実施します。本研修では、子どもたちが能登半島地震や豪雨災害で大きな被害を受けた輪島市を訪れ、被災者の方から直接話を聞くことで、「生きる力」と「防災意識」を育むことを目的としています。

研修実施概要

- 日 程:2025年11月1日(土)～2日(日) 1泊2日
- 場 所:石川県輪島市、国立能登青少年交流の家
- 対 象:広島県内の小学校5年生～中学校3年 代表41名
- 解散式:福山駅(19:13着)19:20ごろ～、広島駅(19:02着)19:10ごろ～
ご取材いただける際はこちらにてお願いします。

活動の背景と想い

2024年1月に発生した能登半島地震と9月能登半島豪雨は、私たちの暮らしに大きな影響を与える災害の脅威を改めて認識させました。そこで、広島県PTA連合会は、子どもたちが災害を「自分事」として捉え、想定外の事態にどう行動するかを学ぶ機会が必要だと考え、この研修を企画しました。

被災地を実際に見て、被災者の方と直接交流することで、教科書だけでは学べない「生きた防災」を体験し、子どもたちの防災に対する視野を広げてほしいと願っています。

研修の概要と子どもたちが得る学び

この研修は1泊2日で実施され、友情を深めるだけでなく、社会を生き抜く力を育む貴重な体験を提供します。

- 現地観察: 輪島市役所付近や、地震で隆起した海岸などを巡ります。
- 交流会: 国立能登青少年交流の家で、被災者の方から体験談を聞く研修会やワークショップを行います。
- 学びの発信: 参加者には、研修の感想文を広島県PTA連合会の広報紙に掲載してもらうことで、自らの学びを再確認し、周囲に防災の大切さを伝えます。

本件に関するお問い合わせ先

広島県PTA連合会 事務局

TEL: 082-262-1600 FAX: 082-262-1602

E-mail: hirosima-pta@mx4.tiki.ne.jp

子どもたちの「生きた学び」と、その真剣なまなざしをぜひご覧ください。